

# 英語を楽しく

☆だれもが知る単語も意外な使い方

happy = しあわせ?

小学生の外国語活動で

先生: "How are you?"

生徒: "I'm happy."

と返す会話がありますが、この "I'm happy." の内容を「ぼく・わたしは幸せです。」と捉えたら、違和感を持ちませんか。

happy は、本来「うれしい」「たのしい」(現状に満足しているという一時的な気持ちを表し、そこから「幸せ・幸福」という永続的な状況にも使われるようになりました。

そこで "I'm happy." ですが、

(現状に満足しているという一時的な気持ちを表す)

= 誕生日プレゼントをもらってうれしい

= テストに合格してうれしい

= 好きな犬を買ってもらってうれしい

など、このようなことが もともと happy ということだったのでね。

「幸せなら手をたたこう」と言う歌がありますが、これはアメリカの子供の歌の一節

"If you're happy and you know it, clap your hand."

を訳したのですが、子どもの歌であることを考えると「幸せなら」と訳すよりも、

「うれしかったら」とか「楽しかったら」と訳した方がぴったりするのではないかという意見もあります。あなたはどう思いますか。



ウォルト・ディズニーは、ディズニーランドを

"The Happiest Place on earth."

と定義づけたと言われています。それは、『世界でいちばん楽しいところ』と言う意味です。

もし、これを「世界でもっとも幸せな場所」と日本語にしたら、

ウォルト・ディズニーは、きっと、

「そんな訳は私の気持ちに合わないよ。「わたしは、大人も子供もじいさんもばあさんもだれもがここから楽しめるところをつくりたかったのです。それが、ディズニーランドですよ。」

『世界でいちばん楽しいところ』がぴったりと

と言うのではないのでしょうか。

○ happy の他の使い方 満足している気持ちを表すためにも使えます。

We were able to reach the final and lost. But we are happy.

「私達は決勝戦に出て負けた。しかし、私達は満足です。」

□人に何か頼まれた時、気持ちの良い返事は、

"Would you open the window?" "Sure, I'd be happy too" (ええ、喜んで)